

令和〇〇年度 個別の教育支援計画
〔個別の指導計画〕

令和〇〇年4月25日記入

ふりがな 氏名		〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇 〇〇	性別	〇	学級	1年〇組	記入者名 (所属)	〇〇 〇〇 (担任)	
診断名等		診断名：知的障害 〇〇年〇〇月〇〇日診断 医療機関名：〇〇病院				服薬	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>		
検査結果等		検査名	田中ビネー知能検査V						
		検査結果	IQ〇〇						
		実施期日	平成〇〇年〇〇月〇〇日						
		実施機関	〇〇市教育センター						
障害者 手帳	身体	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	級		(年 月 日 交付)				
	療育	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	A1	A2	B1	<input checked="" type="radio"/> B2	(〇〇年〇〇月〇〇日 <input checked="" type="radio"/> 交付・再判定)		
	精神	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	級		(年 月 日 交付)				
家庭状況		・父、母、姉（小3）、本人、祖母の5人家族。 ・休日は父親や姉と一緒に、近所の駅で電車を見ることを好む。							
本人及び保護者の 願い		[本人] ・電車の運転手になりたい。 [保護者] ・好きなことを生かして、できることを増やして行ってほしい。 ・通常の学級の友達と学習する機会をつくってほしい。							
健康上の 配慮等		・鶏卵によるアレルギーがあるので、給食等に配慮する。 アレルギー症状が出た場合の対応を校内で共通理解しておく。							
生活 の様 子	学習面	うまくいっている状況			つまづいている中でもうまくいっている状況				
	生活面	・電車が好きで、写真カードを見ながら電車の名前を言うことができる。 ・3個まで、ボールを数えることができる。			・自分から「～したい」と言うことが少ないが、教師が2～3の選択肢を示すと、やりたいことを選ぶことができる。 ・5個のボールを数えることは難しいが、5つに仕切られたケースに入れながら数えることはできる。				
		・食事や排泄などは、一人できる。 ・好きな友達の名前を覚え、その友達と鬼ごっこをしようとするなど、2～3人での活動を楽しむことができる。			・食事中に遊び始めることがあるが、食後に遊ぶ時間があることを絵カードで伝えると、最後まで食べることができる。 ・自分の思いを十分に伝えられず、友達を叩いてしまうことがあるが、教師が本児の思いを代弁すると、落ち着くことができる。				

(年 間)

目 標	・身近な人に、自ら思いを伝えることができる。
評 価	

(1 学期)

教科等	指導目標	指導の手立て	評価
国語	・ひらがなの単語カードの弁別ができる。	・電車の写真と名前カードのマッチングを行い、名前の文字数や形の違いで弁別できるようにする。	
算数	・1 から5 までの数を数えることができる。	・電車の模型などの具体物を用いて、数詞と模型を対応させながら数えることができるようにする。	
生活	・アサガオの成長に気付くことができる。	・アサガオの世話をしながら、支柱に印を付けたり、写真を撮ったりして、成長に気付くことができるようにする。	
音楽	・友達と歌声を合わせて歌うことができる。	・授業の導入に電車の歌を取り入れ、友達と歌えるようにする。	
図画工作	・はさみの安全な使い方が分かる。	・電車の絵の切り抜きを行い、教師の見本を見ながら、はさみの安全な使い方が分かるようにする。	
体育	・リレー遊びに参加することができる。	・見通しが持てるよう、スタートとゴールの位置をカラーコーンで示したり、待つ場所を白線で示したりする。	
特別活動	・友達と一緒に遠足に参加することができる。	・見通しが持てるよう、同じ班の友達や日程について、事前に絵カードなどで確認できるようにする。	
自立活動	・自分の思いを教師に伝えることができる。	・本児が安心して話ができるよう、好きな電車についての話を十分に受け止める時間をつくる。	

合理的配慮	教育内容・方法	・本児が意思を伝える場面では、教師が2～3の選択肢を示し、選べるようにする。 ・生活、音楽、体育は、可能な範囲で通常の学級の授業に参加できるようにし、友達と学ぶ機会をつくる。
	支援体制	・本児に必要な支援の方法について、周囲の児童や教職員にも理解してもらい、同じようにかかわってもらおう。 ・災害時に安全に避難できるよう、本児に付き添う教員を決めておく。
	施設・設備	・安心して教室を移動できるよう、音楽室や体育館の入口にイラストを貼る。

記載内容について承諾しました。

令和〇年5月10日 保護者氏名 (〇〇 〇〇)